

不明疾病の現地調査表（病鑑 No.160）

1 届出年月日時間：平成22年5月17日8時55分

2 届出者：都農町役場

3 発生農場

氏名：

住所：都農町大字川北

4 飼養頭数

和牛繁殖：繁殖牛23頭、子牛17頭 合計40頭

5 家畜保健衛生所立入調査

・14：15 農場到着

・15：00 採材終了

6 病畜の概要

農場稟告（5/17）

14日に繁殖牛1頭泡沫性の流涎と食欲低下。体温は38.5℃だったため経過を観察した。17日に食欲は戻ったが、口の中に何か見えた。また、隣の繁殖牛が涎を流し、食欲が低下した。

家保立入（5/17）

14日から症状のあった牛は鼻腔・上顎・下顎・舌に水疱と糜爛が認められた。特に舌で病変が著しい。17日から症状のある牛は鼻腔と上顎に軽度の糜爛が認められた。

7 給与飼料

サイロ（トウモロコシ）、燕麦、わらは自家製。農場の近くだけでなく、都農駅近くなど数カ所の畑で収穫している。配合飼料は農協。

8 過去7日間に立ち入った者の有無

氏一人で管理を行っている。他の農場との接触はなし。

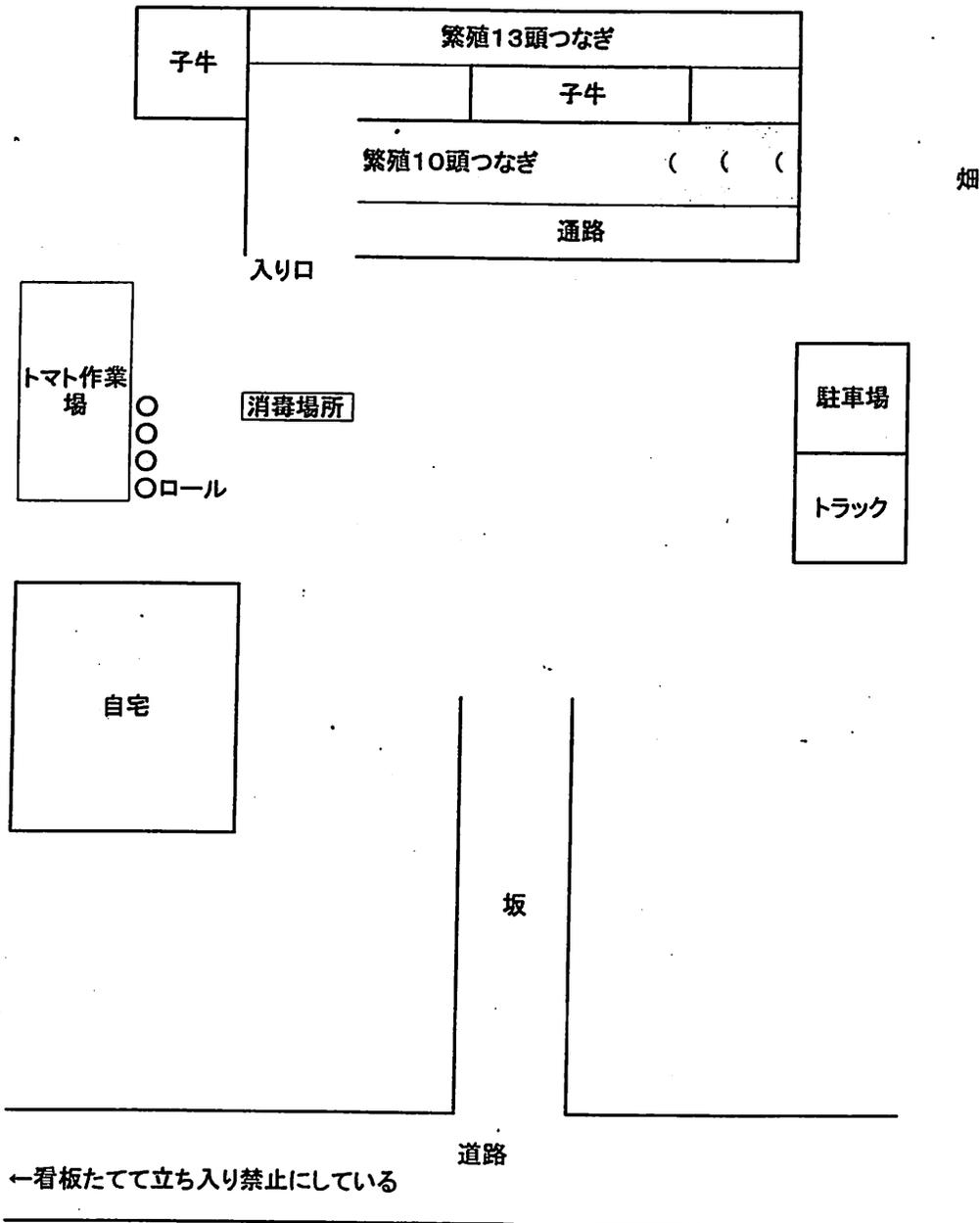
9 その他

5,600m先に豚農家、200m位に牛農家が数件ある。他にトマトの栽培を行っており、農協に出荷している。4/20以降は役場に許可をもらって家に通じる道路を封鎖していた（地図参照）。200m先に堆肥舎があり（地図参照）、普段は糞尿を公道を使って堆肥舎まで持って行っていた。糞尿に石灰を混ぜて農場内に置いておくよう指示。常に海（南東）からの風が吹いており、今回発症していたのは海に一番近い牛であった。可能な限り農場のカーテンを閉めるよう指示した。

検体リスト

検体No.	個体識別番号	種別	生年月日	用途	性別	血液	スワブor組織	症状
1		黒毛和種	H13.11.20	繁殖	♀	○	○	軽度流涎
2		黒毛和種	H15.8.26	繁殖	♀	○	○	流涎、上顎・鼻に糜爛
3		黒毛和種	H14.4.13	繁殖	♀	○	○	上顎・下顎・舌に糜爛。

見取り図



136例目

病性鑑定依頼：材料授受：2010. 5. 17, 24:00
進行状況 (2010. 5. 19, 15:00)

検体No.	用途	個体識別番号	血液	スワブor組織	RT PCR 3D	症状
1	繁殖		○	○	-	軽度流涎
2	繁殖		○	○	+	流涎、上顎・鼻に糜爛
3	繁殖		○	○	+	上顎・下顎・舌に糜爛。

RT PCRはスワブを用いた。

+: 陽性, -: 陰性